教　育　研　究　業　績　書

所属学科	保育学科　通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	新居　佳子（アライ　ヨシコ）
最終学歴	大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士後期課程中途退学
保有学位	修士（人間科学）
主な職歴	大阪大学大学教育実践センター助手・助教（2005 年） 大阪大学人間科学研究科附属比較行動実験施設研究員（2009 年） 大阪市立大学文学研究科都市文化研究センター(UCRC)研究員（2011 年） 大阪市立大学大学教育研究センター研究員（2011 年） 小田原短期大学専任講師（2018 年） 小田原短期大学准教授（2022 年）
専門分野	心理学（認知心理学、社会心理学）
研究テーマ	因果性，推論，思考，効用，文化
担当授業科目	保育の心理学Ⅰ
主な教育研究業績等	【論文】 ・「参加型授業はなぜ効果的か―思考心理学からのアプローチ―（単著）」（『大阪大学大学教育実践センター紀要』第 2 号・2006 年） ・「キャリア教育授業が大学生の就職意識に与える影響（共著）」（『大阪大学大学教育実践センター紀要』第 3 号・2007 年） ・「トピックモデルを用いた授業評価アンケートの自由記述の分析（共著）」（『日本教育工学会論文誌』41 巻 3 号・2017 年） 【著書】 ・『高等教育論入門―大学教育のこれから―（共著）』（ミネルヴァ書房・2010 年） ・『思考と推論：理性・判断・意思決定の心理学（共訳）』（北大路書房・2015 年） ・『ユーモア解体新書：笑いをめぐる人間学の試み（共著）』（清文堂出版・2020 年） ・『実践につながる新しい教養の心理学（共著）』（ミネルヴァ書房・2022 年） 【その他】 ・“What kind of anxiety do parents have during raising children?（共同発表）”(The 17th PECERA Annual Conference・2016 年) ・“A cultural difference on causal reasoning by a causal induction paradigm: Japanese data.（共同発表）”(International Conference on Thinking・2016 年) ・日本教育工学会第 32 回論文賞受賞（2018 年） ・“Is it influenced by education? Cultural difference in causal reasoning.（共同発表）”(The 9th International Conference on Thinking・2021 年) ・”Cultural difference of self-criticism for smiles and laughs in Japan.（共同発表）”(The 32th International Congress of Psychology・2021 年)
所属学会	
主な社会活動	日本認知科学会大会発表査読